

花王、昨年につき、CDP から「気候変動」「フォレスト」「水セキュリティ」 の分野で最高評価を獲得

花王株式会社(社長・長谷部佳宏)は、このたび、国際NPOであるCDPが実施し、世界の調査対象企業が回答した「気候変動」「フォレスト」「水セキュリティ」対応に関する調査において、すべての分野で最高評価である「Aリスト企業」に選定されました。トリプルA企業は、CDP質問書への回答をもとに評価された約12,000社の中から、14社選定されています。花王は昨年が続いて2回目のトリプルA獲得となり、「気候変動」分野は3回目、「フォレスト」分野は2回目、「水セキュリティ」分野は5回目の選定です。



CLIMATE WATER FORESTS

花王グループは、毎日の暮らしの中で使用する製品を提供する企業の責務として、製品のライフサイクル全体を通じた環境負荷の低減に積極的に取り組んでいます。2019年4月にはESG戦略「Kirei Lifestyle Plan」(キレイライフスタイルプラン)を策定し、19の重点取り組みテーマを設定。経営にESGの視点を導入することで、事業の拡大と消費者や社会へのよりよい製品・サービスの提供を推進しています。

今回の「気候変動」「フォレスト」「水セキュリティ」分野における「Aリスト企業」選定は、花王のバリューチェーン全体での取り組みが結実したものだと考えています。「脱炭素」の実現に向けては、RE100に加盟し、1.5°CシナリオのCO₂排出量削減目標達成をめざしています。「フォレスト」分野についても、花王の取り組みの進歩が評価され選定につながったと考えています。自社のパーム油サプライチェーンの中に存在する課題を認識し、小規模パーム農園の支援プログラム「SMILE」(Smallholder Inclusion for better Livelihood & Empowerment program)を開始しました。小規模パーム農園の生産性を高めることによって生産者の生活の向上に貢献し、新規農園開発による森林破壊の抑制にもつなげていきます。「水セキュリティ」に関しては、花王独自の技術を採用した製品を提供することで、お客さま、ビジネスパートナー、社会といった各ステークホルダーと「いっしょにeco」の取り組みを続け、節水を実現していきます。ここで鍵となるのは気候や水、森林に関わるシナリオ分析を実施し、それを最大限に活用することです。リスクと機会を特定した上で、計画と行動を事業戦略に組み込んでいくことが重要だと考えています。

今回の「気候変動」「フォレスト」「水セキュリティ」の3分野における「Aリスト企業」選定にあたり、執行役

員 ESG 部門統括の Dave Muenz(デイブ・マンツ)は、「2 年連続で CDP の『気候変動』『フォレスト』『水セキュリティ』の 3 つの調査すべてにおいて、『A リスト企業』に選定されたことを大変喜ばしく思っています。今回の選定は、花王が今後より一層一人ひとりのサステナブルなライフスタイルを送りたいという思いや行動に応え、こころ豊かな『Kirei Lifestyle』に貢献していくための大きなモチベーションとなりました。昨年より私たちは、2050 年までにカーボンゼロを超えて、カーボンネガティブをめざす目標の策定、自社のパーム油サプライチェーンに関するプログラムの開始など、いくつかの重大な決断をしました。このような決断が、2 年連続のトリプル A 獲得に貢献したものと考えています」としています。

CDP チーフ・エグゼクティブ・オフィサー ポール・シン普森は、「本年度の A リスト企業すべてにお祝い申し上げます。環境情報開示や環境対策において先駆的であることは、民間企業の事業活動の中で最も評価されるべきものの一つであり、COP26 の開催と IPCC 第 6 次評価報告書の公表のあった本年においては、なおさらそう言えます。気候変動、森林減少、水不足に起因するビジネスリスクは甚大であり、行動を起こすことにより不作為のリスクを凌ぐことができます。民間企業の先駆的な取り組みは、さらなる政府の取り組みを促し、延いては、ネットゼロで自然環境に配慮した公平な経済の実現に向けた世界規模での目標設定に寄与します。私どもの A リストは、今日の行動により、そうした将来経済で秀でる準備のできている企業を称賛するものです。」とコメントしています。

花王グループは今後も、気候変動対応、森林資源、水資源の保全に積極的に取り組むなど、経営に ESG の視点を導入することで、事業の拡大と、消費者や社会へのよりよい製品・サービスの提供をめざしていきます。そして、豊かな共生世界の実現に向けて取り組んでまいります。

■CDP について

CDP は、企業や自治体を対象とした世界的な環境情報開示システムを運営する国際環境非営利団体です。2000 年に英国に設立され、110 兆米ドルを超える資産を保有する 590 強の投資家と協働し、資本市場と企業の調達活動を介して、企業に環境情報開示、温室効果ガス排出削減、水資源保護、森林保護を他に先駆けて働きかけています。2021 年、世界の時価総額の 64%強に相当する 13,000 強の企業と 1,100 強の自治体を含む世界の 14,000 強の組織が、CDP を通じて環境情報を開示しています。CDP は、TCFD に完全に準拠した世界最大の環境データベースを保有しており、CDP スコアはゼロカーボンで持続可能な耐性のある経済の実現に向けて投資や調達の意思決定を促すために広く利用されています。CDP は、科学に基づく目標イニシアティブ、We Mean Business 連合、The Investor Agenda、ネットゼロ・アセットマネージャーズ・イニシアティブの創設メンバーです。詳しくは、次のサイトを参照ください。<https://cdp.net/en>

<関連情報>

■CDP 2021 年度 A リストについて(英語)

<https://www.cdp.net/en/companies/companies-scores>

■花王、ESG 戦略「Kirei Lifestyle Plan」を発表

<https://www.kao.com/jp/corporate/news/sustainability/2019/20190422-001/>

■未来に向けた「花王グループの新たな挑戦」 ESG 経営に大きく舵を切る

<https://www.kao.com/jp/corporate/news/business-finance/2019/20190926-001/>

■花王のサステナビリティ

<https://www.kao.com/jp/corporate/sustainability/>